

第37回横浜開港祭で護衛艦「いずも」横浜港大さん橋で一般公開



乗艦するために列を作る人々



護衛艦「いずも」エレベーターで
上甲板へ（上昇中）



陸上自衛隊第1音楽隊の演奏



高等工科学校の演舞

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野太資一等海佐）は、6月1日（金）及び2日（土）、第37回横浜開港祭において、横浜港大さん橋に停泊して行われた護衛艦「いずも」の一般公開を実施した。

入港歓迎式をはじめ、特別公開などの歓迎行事を皮切りに、その後行われた一般公開では、2日間で延べ21,233人の乗艦者が訪れた。

乗艦した来場者からは、「いずもの大きさに圧倒された」「貴重な体験ができて楽しかった」「隊員さんが親切でかっこいい」などの声が多く聞かれた。また、両日にわたりアンケートに答えてくれた募集対象者には特別公開を実施し、延べ275名の参加者を得た。募集対象者からは「一般公開では公開していない艦内の見学が出来るとても興奮した」「自分も艦艇に乗って仕事をしてみたい」など、大盛況を得た。

その他、岸壁に開設した募集広報ブースや中央野外通信群（久里浜駐屯地）の野外炊具1号による豚汁の炊き出しでは、大人から子供まで沢山の来場者で賑わい、両日で1,200食の豚汁は数時間で完食、初日は陸上自衛隊第1音楽隊、2日目は高等工科学校和太鼓部が見事な演奏・演舞を魅せるなど、横浜港大さん橋は暑い熱気に包まれた。

神奈川地方協力本部は、「今後も、集客力のあるイベントを活用し、自衛隊の真摯な活動をPRし募集広報に繋いでいきたい」としている。

自衛官募集強化へ横須賀市内の「TSUTAYA」2店舗にポスター掲示



返却ポストへ掲示完了の松浦1尉



店内に西村さん自らポスターを掲示

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦一海尉）は、6月4日（月）レンタルビデオ店「TSUTAYA衣笠店」及び「TSUTAYA堀ノ内店」の計2店舗の協力を得て、自衛官募集PRポスターやイベントチラシを掲示した。

この度、岡山県に本社がある株式会社ティーツーの社長からご協力のお話を頂戴し、全国展開している「古本市場」の系列「TSUTAYA」において募集広報ができることとなり、神奈川県エリアマネージャー・西村芳樹さんの全面的な協力の下、ポスター掲示及び自衛隊イベントチラシやリーフレットの設置が出来た。

また、レンタルビデオの返却口には中・高生の若年層及び家族連れの利用者を焦点とした自衛官募集PRポスターを掲示させていただいた。

西村さんは、「自衛隊に関心を持って頂けるようにご協力いたします。機会があれば自衛隊のイベントにも協力したい。」と、今後の更なる支援も約束してくれた。

横須賀地域事務所は「今後も、地域に密着した企業との連携を図り、自衛官募集をPRするために様々な方法を施策し、より多くの人に自衛隊についての理解を深めてもらえるよう広報活動を実施していく」としている。